

## タカラスタンダード独自のホーロー壁装材「エマウォール」 10月1日に延長する沖縄都市モノレールの内装・外装に採用

システムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器メーカー・タカラスタンダード株式会社（本社：大阪市城東区、代表取締役社長：渡辺岳夫）が販売するホーロー壁装材「エマウォール」が、その優れた素材力が評価され、2019年10月1日（火）に延長する沖縄都市モノレール「ゆいレール」の新駅の内装と外装の一部に採用されました。



（2019年9月、開業を控え周辺整備も急ピッチで進んでだご浦西駅）



（だご浦西駅連絡通路）

ホーロー壁装材「エマウォール」は、これまでタカラスタンダードが水回り製品で培ってきた技術を活かしつつデザイン性を飛躍的に向上させた、清掃性・耐久性・利便性に優れた画期的な壁装材です。素材となる「高品位ホーロー」は丈夫な金属のベースに清潔なガラス質を850℃もの高温で焼き付けたタカラスタンダード独自の材質。キッチンや浴室といった過酷な水回り環境でも長く快適にお使いいただけるその耐久性は、壁装材となっても変わりません。また、表面も非常に硬く、例えばワイヤーブラシで思い切りこすっても傷つくことはありません。そして、耐候性にも優れているため、直射日光による色あせもほとんどなく、いつまでも新品同様の美しさが続きます。その優れた素材力から、公共施設や駅舎、企業の社屋などでの採用実績を伸ばしています。

2003年には、沖縄唯一の鉄道路線・沖縄都市モノレール「ゆいレール」の赤嶺駅-首里駅間の14駅の駅舎の外装材として採用され、沖縄の強い日差しや海風による塩害を受けながらも色あせない色彩と光沢感を保ち続けました。この度、その耐候性が高く評価され、延長が決まった石嶺駅-だご浦西駅間の全ての駅の外装材と、新たに各駅の内装材にもご採用いただく運びとなりました。内装材は独自の技術であるホーローへのインクジェットプリントを使い、沖縄本島や宮古島が原産の琉球トラパーチンをイメージした柄を採用。終点であるだご浦西駅構内の連絡通路には、沖縄の方言で太陽の子を意味する“だご”から、太陽をイメージしたオレンジ色のアクセント柄を入れるなど、それぞれの駅を象徴するデザインがお客さまをお迎えします。

タカラスタンダードはこれからも独自のホーロー素材と技術を使った商品をお届けし、皆さまの暮らしを豊かにしてまいります。

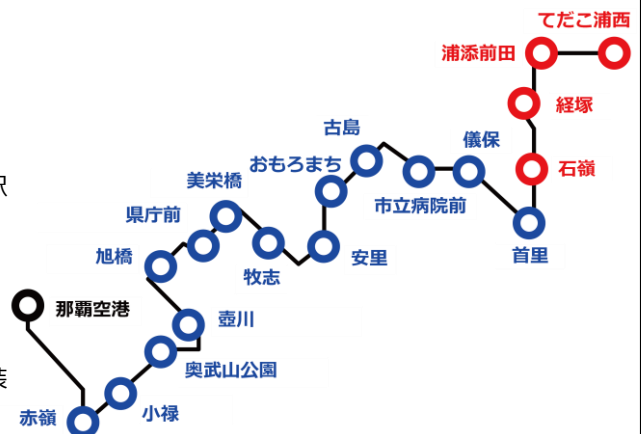
### < 参考資料 : 採用の詳細 >

#### 既存駅（路線図青）… 全て駅舎外装

赤嶺駅、小祿駅、奥武山公園駅、壺川駅、旭橋駅、県庁前駅、美栄橋駅、牧志駅、安里駅、おもろまち駅、古島駅、市立病院前駅、儀保駅、首里駅

#### 延長駅（路線図赤）

石嶺駅 … 駅舎外装、プラットフォーム・コンコース内装  
 経塚駅 … 駅舎外装、プラットフォーム・コンコース内装  
 浦添前田駅 … 駅舎外装、プラットフォーム・コンコース内装  
 だご浦西駅 … 駅舎外装、プラットフォーム・コンコース、連絡通路内装



#### < タカラスタンダードとは >

1912年創業。『ずっと「愛せる」というしあわせ。』をブランドコンセプトに、独自の「高品位ホーロー」技術を活かしたシステムキッチン・バスを中心とした住宅設備機器を製造販売。より高度化、多様化、複合化するお客さまのニーズにお応えするホーロー技術のリーディングカンパニーとして、また住宅設備機器のトップメーカーとして、次世代を担う新たなホーローの可能性を追求し、快適な暮らしの創造を目指しています。

[設立：1912年5月30日（創業107年） / 売上高（連結）1,932億円（2018年度） / 従業員数（連結）6,186名]